

# 2030長期ビジョン

2022年5月

株式会社テクノメディカ

# 1. 2030長期ビジョン

(長期ビジョン制定にあたり)

2030長期ビジョンを制定しました。

事業活動を通して、健康、医療分野で社会に貢献していきます。

当社は1987年に創業、採血管準備装置・システムは他社に先駆けて開発し、病院待ち時間の大幅な短縮を図り、病院及び患者様へ効率的で、快適なサービスを提供し貢献してまいりました。

2022年には創業35年を迎えます。当社の更なる安定的な成長のために、変えないもの、変わらなければならないものについての議論を行い、当社の「経営理念」を実現するために今後何に取り組み、如何に社会に貢献していくべきか、当社の10年後のありたい姿としての、2030長期ビジョンを制定致しました。

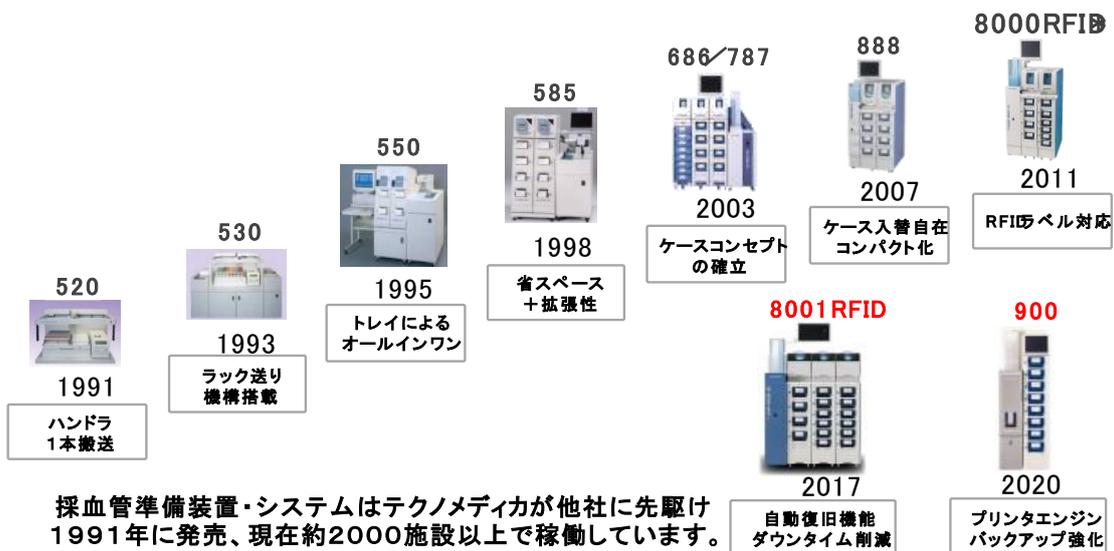
当社が考える10年後の社会像に対し、当社として健康、医療分野でどのように貢献できるのか、チャレンジしていきたいと考えています。

## テクノメディカの主要製品

TMC **Techno Medica**

CONFIDENTIAL

### ◆ 採血管準備装置・システムの歴史



\*RFID(Radio Frequency IDentification) … ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム

## 2. 10年後の社会像

SDGs(国連の持続可能な開発目標)をはじめとした社会課題解決への取組の要請が高まっています。当社は社会の基盤と革新を担う存在であり、社会課題の解決に向けて大きな責任を持っています。持続可能な社会の実現には、ソリューション提供を通し、当社が成長しながら継続的に社会価値を創造していくことが不可欠となっています。当社は ESG(環境・社会・企業統治)の視点で機会とリスクを的確に捉え、経営に反映させて参ります。

### SDGs への貢献分野



### (取組内容)

- ・ 使用する原材料の削減
- ・ ロボットシステム普及に貢献する技術や製品の開発、ソリューションの提供
- ・ 消耗品事業のプラスチックから紙製品等(エコマテリアル)への転換
- ・ 感染予防対策に資する製品の開発、提供
- ・ 自社ビル内節電策、太陽光発電の活用
- ・ 産業廃棄物のミニマム化
- ・ 安定調達、供給のための構造改革
- ・ 「現場力」に基づいた最適生産体制の確立
- ・ 働きやすい職場環境づくり

当社は革新的な新製品や技術開発を通して、このような社会課題の解決に向けて果たすべき役割は大きいと考えています。この変化に迅速に対応し、持続可能な成長・発展を目指します。

### 3. 経営理念・基本方針

#### 経営理念・基本方針



#### 経営理念

「わたしたちは、健康、医療分野でのオリジナリティあふれる  
オンリーワンの製品・サービスを提供し、社会に貢献します」

(基本方針)

- 1.採血管準備装置・システム及び血液ガス装置は、信頼性、品質の向上を図り、価値あるサービスを提供することにより、お客様の期待に応えます。
- 2.新製品の開発(※)により、新たな事業の創造を目指します。
- 3.これからも日本国内にとどまらず、当社の技術力を生かし、世界に貢献する企業を目指します。

※キーワードは「在宅医療」「予防医学」「先制医療」「POCT(臨床現場即時検査)」な

3

#### テクノメディカの主要製品



#### ◆ 品目別に見た主要製品

		製品名				
採血管準備装置・システム 検体検査装置 消耗品等	採血管準備装置 BC-ROBO 8001RFID	卓上型 採血管準備装置 BC-ROBO7	RFID検体情報 統括管理システム TRIPS	アンテナ ボックス 採血管 スタンド	全自動尿分取装置 UA-ROBO- 2000RFID	
	血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル	ハンディ型血液ガス分析器 GASTAT-navi	電解質測定器 STAX-5 Inspire	<その他> 赤血球沈降速度測定 装置 尿中酸化ストレスマーカ ー測定システム 等		
	各種採血管	ラベル	センサーカード	電極	ハルンカップ	<その他> 採血管準備装置および 検体検査装置の保守 等

4

## 4. 2030年社会に貢献する事業領域ビジョン

### (1) 採血管準備装置・システム



### (2) 検体検査装置



### (3) 新規取り組み



## 5. 社会に貢献するための3つの基本戦略

10年後の社会に貢献するためのキーワードは、イノベーション、海外展開、既存事業強化です。

### (1) イノベーションの追及

- ・顧客目線でのイノベーションの強化
- ・研究開発、システムソリューションによる提案力の強化



### (2) 海外展開の拡大

- ・グローバルな拡大を目指し、自社での地域拡大及び海外代理店の活用による販路の強化



### (3) 既存事業強化

- ・AI、IoT等の先端技術活用による次世代機の開発
- ・消耗品拡大への生産効率化
- ・サプライチェーンを含めたコスト合理化

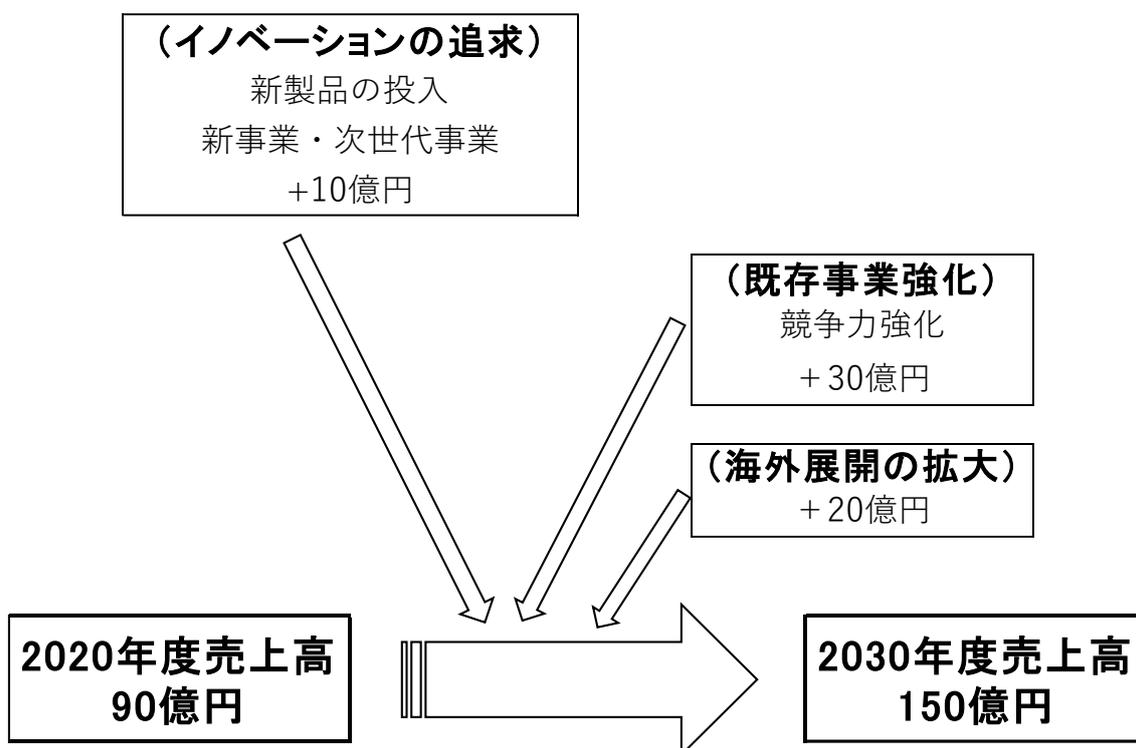


事業活動を通し社会に貢献できる会社を目指し、3つの事業領域と経営基盤を強化し健康、医療分野での安心な社会の実現へ向けた取り組みを進めて参ります。

## 6. 2030経営数値目標

2030年には、売上高150億円、営業利益30億円、株主資本利益率(ROE)10%以上を目指し、更なる事業ポートフォリオの変革を推進して参ります。

### (1)売上高



### (2)株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置付けし、経営環境、業績に裏付けられた成果の配分と、内部留保の決定を行うことを基本方針としています。

これまで安定配当を維持するとともに、配当性向30%~40%を目安に実施して参りました。今後中長期的には、配当性向30%~40%を目安に加え、総還元性向50%を実現することを目指してまいります。

以上